

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

# メニエール病・遅発性内リンパ水腫診療ガイドライン 2020 年

一般社団法人 日本めまい平衡医学会 メニエール病・遅発性内リンパ水腫診療ガイドライン 2020 年版作成委員会 (統括委員会 委員長: 將積日出夫 富山大学耳鼻咽喉科学 教授)  
金原出版、2020 年 5 月 15 日 第 1 刷発行

## ■1 漢方薬

疾患:

メニエール病

有効性に関する記載ないしその要約:

『24.2 メニエール病の間歇期の治療 (治療アルゴリズム)』の薬物治療の項に、下記の記載がある。

『抗めまい薬、ビタミン B<sub>12</sub>薬、漢方薬などがイソソルビドと併用または単独に投与されることがある。』

備考:

「メニエール病の間歇期の治療アルゴリズム」に、下記の記載がある。

「メニエール病の発作予防の段階的治療

1. 保存的治療

生活指導 (過労・睡眠不足・ストレス回避) 、心理的アプローチ

薬物治療 (浸透圧利尿薬、抗めまい薬、抗不安薬、ビタミン B<sub>12</sub>、漢方薬) 」